

## 道の駅防災機能向上への支援 『防災倉庫設置』

四国には現在 87 の道の駅が設置されており、「道の駅」には道路利用者や地域の皆様のための、休憩機能、情報発信機能、地域の連携機能が備わっています。

過去の東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害においても道の駅は主要な道路に面して位置し、広い駐車場があること、トイレが整備されていることから防災拠点として、物流の集積地、緊急車両の基地、被災者の避難場所などに活用されてきました。

四国クリエイト協会では、四国の豊かな未来づくりを支えるための事業を展開しており、その主要な事業の一つとして防災事業を行っています。

協会では、南海トラフ巨大地震とそれに伴う大津波の発生が高まっている四国の状況を踏まえ、「道の駅」の防災機能向上のため、四国管内の道の駅に公益事業として、防災倉庫設置を助成してまいりました。

主な助成内容は

防災倉庫（幅 2.6m 高さ 2.1m 奥行き 1.8m）  
発電機、投光器、簡易トイレ、ラジオ、ランタン、  
非常用給水袋、アルミヒートブランケット、ブルーシート 等  
となっています。

※倉庫に備える備品については駅によって相違があります。

事業は平成 28 年度より実施され 30 年度までに 16 箇所の道の駅に設置されています。

平成 29 年 7 月の西日本豪雨災害では、発電機が現場で使用され、お役にたつことができました。また、平時においても防災訓練において使用されています。

防災倉庫設置状況



簡易トイレ



投光器



贈呈式



防災倉庫設置状況

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
28年度	温泉の里神山 大歩危 わじき	滝宮	マイントピア別子 伯方 SC パーク	四万十大正
29年度	第九の里	とよはま	ひろた 広見森の三角ぼうし	
30年度	貞光ゆうゆう館	ことなみ 小豆島オリーブ公園	なかやま	なぶら土佐佐賀
小計	5	4	5	2

設置にあたっては贈呈式を、理事長、各支所長より各箇所において実施しており、各施設管理者より感謝の声をいただいております。

今後とも、「道の駅」への防災倉庫設置等を進め、道の駅の防災能力を向上して頂くために継続して取り組みの充実をはかってまいります。